

Hiroshima NOW

10

2022

やさしい日本語 No. 6

救急車を正しく 利用しましょう

ひろしま市民と市政 9月1日号 (P2)



急な病気や 大きなけがをしたとき 救急車を呼びます。しかし 救急車の数には かぎりがあります。本当は救急車が ひつようでない人が 救急車を呼ぶことがふえると 本当に救急車がひつような人のところに 救急車が行くのがおそくなります。救急車が行くのがおくれると 助けることができる命を 助けることができなくなります。

本当に救急車がひつような人のところに すこしでも早く 救急車が行くことができるように 救急車を正しく 利用してください。

くわしいことは 下の電話番号に 電話してください。

消防局救急課 電話番号 546-3461、ファックス番号 249-1160

緊急のとき: 下の症状があるときは すぐに救急車119を呼んでください!



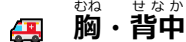
顔

- 顔の半分が 動きにくい
- 笑ったとき 口や 顔の片方が ゆがむ
- ろれつが 回らない (舌がちゃんと動かず うまく話すことができない)
- 視野が欠ける (見ているものの 一部分が 黒く見えるなど)
- 物が 二重に見える
- 顔色が とても悪い



頭

- とつぜん はげしく 頭がいたくなる、高い熱がでる
- 急に 立っていることができないくらい ふらつく




胸・背中

- 胸がいたい、息が切れる、うまく呼吸する (息をすったり はいたりする) ことができない (呼吸困難)
- 胸の真ん中が しめつけられたり 圧迫されたりする (押されるような感じがする) ような いたみが 2分から3分続く
- いたいところが 変わる



手・足

- とつぜん 手や 足がしびれる
- とつぜん 片方 (右か左の どちらか) の腕や 足に 力が入らなくなる

 ^{はら} 腹 (おなか)

- ・ とつぜん はげしく ^{はら} 腹 (おなか) が いたくなる
- ・ はげしい ^{はら} 腹 (おなか) のいたみが ^{つづ} ずっと続く
- ・ ^{とけつ} 吐血 (口から血を吐く)、^ち 下血 (おしりから ^ち 血が出る) がある

^{きゅうきゅうしゃ} 救急車を呼ぶかどうか ^{まよ} 迷うとき : 「^{きゅうきゅうそうだん} 救急相談センター ^{ひろしまこういきとしけん} 広島広域都市圏」に ^{でんわ} 電話してください
^{きゅうきゅうしゃ} 救急車を呼ぶかどうかを ^{まよ} 迷うときは ^{した} 下の電話番号に ^{でんわ} 電話をしてください。 ^{かんごし} 看護師の人などに
^{そうだん} 相談することができます (相談は ^{にほんご} 日本語のみです)。

^{きゅうきゅうそうだん} 「救急相談センター広島広域都市圏」

^{でんわばんごう} 電話番号 **#7119**

- ※ ^{じかん} 24時間365日、いつでも ^{でんわ} 電話することができます。
- ※ ^{そうだん} 相談は無料です (電話をかける ^{かね} お金は かかります)。
- ※ #7119 につながらないとき ^{でんわばんごう} 電話番号 246-2000 に ^{でんわ} 電話してください。

くわしいことは ^{でんわばんごう} 下の電話番号に ^{でんわ} 電話してください。

^{いりようせいさくか} 医療政策課 ^{でんわばんごう} 電話番号 504-2178、^{ばんごう} ファックス番号 504-2258

